



MICHAEL YORK
as John the Baptist



DONALD PLEASANCE
as Melchior



ANTHONY QUINN
as Caiaphas



ALSO STARRING
CYRIL CUSACK
as Yehuda



FERNANDO REY
as Gaspar



IAN HOLM
as Zerah



ROD STEIGER
as Pontius Pilate



YORGO VOYAGIS
as Joseph



PETER USTINOV
as Herod the Great



JAMES EARL JONES
as Balthazar



STACY KEACH
as Barabbas



JAMES MASON
as Joseph of Arimathea



IAN MCSHANE
as Judas



LAURENCE OLIVIER
as Nicodemus



STARRING
ROBERT POWELL
as Jesus



AND
OLIVIA HUSSEY
as Mary



ANNE BANCROFT
as Mary Magdalene



ERNEST BORGNI
as The Centurion



JAMES FARENTINO
as Simon Peter

巨匠ゼツファイレツリ
感動の超大作！
世界の豪華スターが
織りなす人間イェス
永遠の愛のドラマ。

私はあなたの哀しみを
知っている。
来なさい
私のもとに。

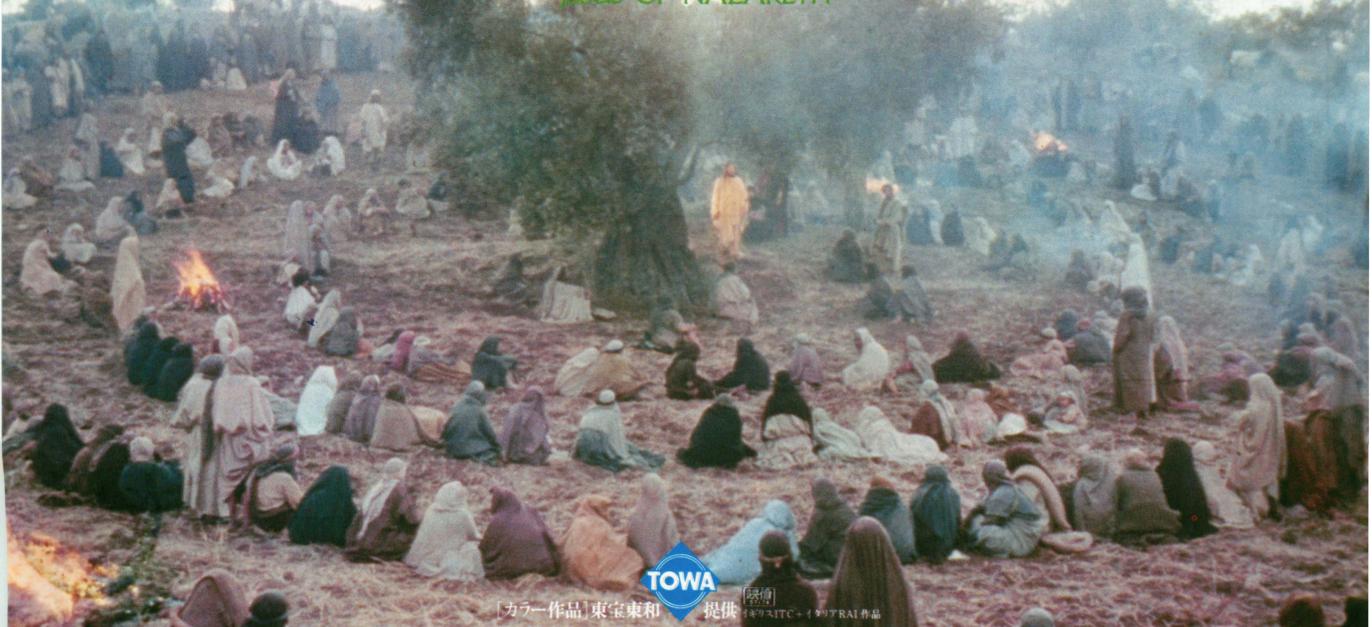


ロバート・ワウエル
オリビア・ハッシー
アン・バンクロフト
アーネスト・ボークナイン
ジェームズ・ファレンティノ
ジェームズ・アール・ジョーンズ
ステューシー・キーチ
ジェームズ・メーソン
イーアン・マクシェーン
ローレンス・オリビエ

ドナルド・プレザンス
アンソニー・クイン
フェルナンド・レイ
ロッド・スタイガー
ピーター・ユスチノフ
マイケル・ヨーク
シリル・キユサック
イアン・ホルム
ヨルゴ・ボヤジス

ナザレのイエス

JESUS OF NAZARETH



「カラー作品」東宝東和 提供 録音 録音 録音 録音 録音 録音 録音 録音 録音 録音

8月2日 全日ロードショー

有楽町 日劇前 ニュー東宝 シネマ2 (571) 1947

ナザレのイエス

監督フランコ・ゼツフィレリ JESUS OF NAZARETH カラー作品 TOWA 東宝東和提供

カトリック中央協議会推薦

世界の19大スターが名演を競う、愛と真実の3時間15分！

●イエス・キリストは、この世で、もつとも劇的な生涯を送った人である。
この映画は、イエスと彼を取巻く群像に焦点をあて、極めて正攻法な手法で格調高くまとめている。

目で読む現代版新約聖書といったところだ。私たち日本人は、信仰の書である聖書が、また、心の琴線にふれる興味深い人生ドラマであることも、この映画を通して知るであろう。

矢代静一氏(作家)



●ナザレのイエスは絶えず再解釈されて生きつづけ、二千年たっても消えることがない。このこと自体が奇跡だが、この奇跡の基は新約聖書にある。従って再解釈の前にこれの忠実な復原がなくてはならない。特に聖書の伝統のない日本での奇矯な再解釈の先行には、私自身常々問題を感じていた。今回の「ナザレのイエス」は聖書の記述の忠実な再現である。イエスについてどう考えるかは各人の自由だが、その前に、今も生きつづけ大きな影響をもつその内容をまず知る事が前提であろう。その意味でこの映画は是非見ていただきたいと思う。

山本七平氏(評論家)

●二千年にわたって世の人びとの精神世界を形成してきたキリスト教。その出発点であり同時に到達点でもあるイエス・キリストの生涯は弟子や後継者たちによる「四福音書」に記されているが、その記述やエピソードの解釈をめぐる限りない論議がなされてきた。

この映画は、かつて「ブラザー・サン・シスター・ムーン」でカトリックの聖者をとりあげた名匠フランコ・ゼツフィレリが、とうとうしたさまざまな論議に惑わされず、福音書の忠実な解釈と厳密な考証に基き、イエス・キリストの愛と真実を描いた偉大な心のドラマである。

脚本はゼツフィレリと、「ブラザー・サン・シスター・ムーン」「家族の肖像」の名シナリオライター、スーズ・チェッキ・ダミーコ、「時計じかけのオレンジ」の原作者アンソニー・バージェスの三人が共同で執筆し、イエスの生誕前後から十字架上の死を経てキリストとしての復活に至るまでの信仰と奇跡に深い考察を行なっている。

出演者の顔ぶれも多彩・絢爛を極め、サー・ローレンス・オリビエを始め、アン・パンクロフト、マイケル・ヨーク、ジェームズ・メイスン、ピーター・ユスチノフなど世界のトップ・クラスが名演を競い、イエスの時代と人間たちを鮮やかに活写してみせる。難題のイエス役には、欧米の観客を嘆賞せしめたロバート・パウエルが適役で臨み、聖母マリアには、ゼツフィレリの「ロミオとジュリエット」で一躍スターの座についたオリビア・ハッシーが選ばれた。

最後に、監督は自作をこう説明している。「数多くのおとぎ話的な解釈や教会用映画などによって汚されたキリストという人物像からその塵を払い落したいと思った。私の描くイエスは三つの次元を持つ。まず、誰もが親しい絆を持ちたくなるような友人。次に、すばらしい奇跡的な能力の持主。第三に、神であること。福音書こそ最もすぐれたドラマであり、推理小説なのである」

〔スタッフ〕

監督……………フランコ・ゼツフィレリ
製作指揮……………サー・リユー・グレード

脚本……………アンソニー・バージェス
……………スーズ・チェッキ・ダミーコ
……………フランコ・ゼツフィレリ

撮影……………デービッド・ワトキン
……………アルマンド・ナンヌツィ

美術……………ジャンニ・クアランタ
……………マルセル・エスコフィエ

衣裳……………エンリコ・サバティエーニ
……………モーリス・ジャール

音楽……………イギリス・TCC
……………イタリアRAI共同製作

〔キャスト〕
イエス……………ロバート・パウエル
マリア……………オリビア・ハッシー

マグダラのマリア……………アン・パンクロフト
百人隊の隊長……………アーネスト・ボークナイン

シモン・ペテロ……………ジェームズ・ファレンティノ
バルタザール……………ジェームズ・アール・ジョーンズ

バラバ……………ステシー・キーチ
マリアアタヤのヨセフ……………ジェームズ・メイスン

ユダ・イスカリオテ……………イーアン・マクシェーン
ニコデモ……………ローレンス・オリビエ

メルキオール……………ドナルド・プレザンス
カヤファ……………アンソニー・クイン

ガスパル……………フェルナンド・レー
総督ピラト……………ロッド・スタイガー

ヘロデ王……………ピーター・ユステイノフ
洗礼者ヨハネ……………マイケル・ヨーク
イエフダ……………シリル・キュサク
ゼラ……………イーアン・ホルム
ヨセフ……………ヨルゴ・ボヤジス